

一般質問

中川 直美 議員

住民の立場によりそう市政運営を



【質問】 地域住民の立場を大切にする2S3Kは進んだか。

【市長】 住民の立場に立つてやるのが仕事であり、やっている。

【質問】 総合戦略の計画等は「絵に描いた餅」でないか。

【市長】 今までの計画が絵に描いたものと言も言っていない実践する計画だ。

【質問】 最上位の行革計画で「存続」の両津文化会館は、住民に相談せずに廃止を決めており計画違反だ。

【教育長】 説明会は利用者に意見を聞いただけで、市長部局と詰めていない。

【行政改革課長】 計画では存続で廃止を決定していない。

【質問】 このことは市長も入る総合教育会議で決めるべきではないか。

【市長】 「将来ビジョン」は教育部局と一緒にやるもの

で、会議の中でしっかりとや

【質問】 住民の立場に立っているのに、金井統合保育園

に対し保護者からの陳情が出ている。説明責任と住民

合意が十分でないのではな

【市長】 保護者の要望等に答える説明責任は当然であり、保護者と手を握っていない

【質問】 学校統廃合の新しい通達や地方創生は、地域のあり方にとって学校は重要

だと文科省も言っているのに、国中4中学校を2つに統合するが、十分検討した

【教育長】 教育委員会では地方創生の検討はしていない

【質問】 市長もこの統合を進めるのか。

【市長】 今の段階ではそう考

えている。

【質問】 法改正後、半年もた

つが教育委員会議事録も公開されていないのは問題で

【市長】 総合教育会議もあるので指示を出す。

【質問】 柏崎刈羽原発を再稼働するなら佐渡島民の意見

も聞けと言うべきではないか。

【市長】 東電や県内研究会で言っていく。

【質問】 国のエネルギー見通しは、すべての原発が再稼働になる。

【市長】 見通しは間違いである。

【質問】 真野地区をはじめ、水道水の硬度が高い地域では、困っており、不公平ではないか。

【質問】 離島流通合理化事業（水産物加工施設整備事業）は平成24年12月議会に

提案され、翌25年5月に竣工、稼働開始された。同年

12月議会で、分社化し名義人等を変えたいので、国に

確認したところ可であると報告があった。翌26年春

に、長野から反社会勢力の人が入ってきて、7月に議員懇談会で説明があった。

一年も経っているのに何も明らかにされていない。委員会等を秘密会にし、報告

すべきではないか。

【市長】 秘密会で絶対に漏れないことが確約出来れば可能である。しかし、漏れることになる、信頼関係が崩れる。また、その対応に苦慮するという問題が起きる可能性もあるので、議長と相談し対応する。

【質問】 補助金は、要件を満

一般質問

金光 英晴 議員

補助金交付は公正に



【質問】 離島流通合理化事業

たせば誰でも公平に受給出来るよう公平性が担保されていること、また不正受給防止のため罰則規定も必要

である。

【市長】 交付決定時のチェックは平成26年度から交付チェックリストを作成し行っている。最初はミスが多かったが現在はミスも減って

浸透してきたと感じている。

【市長】 追跡調査については要綱に謳ってなかったので行って

いなかっただ。要綱を見直し改正したところである。

【質問】 罰則規定については、取り入れるよう指示した。

【市長】 地域振興のため支所、行政サービスセンターの充実に方向転換した。し

かし、職員の配置が支所、行政サービスセンターの充実に繋がらないと思っ

ている地区もある。むしろ職員を配置するよりお金を回してもらった方が活動も多

く、喜ばれる場合もある。今後は特色ある地域づくりを考え、支援して行く

ことが必要ではないか。

【市長】 職員の数を増やしたから充実と言うことではないことは承知している。まずは職員の配置し、地域が何を必要としているのか見極めるために行った。

行財政改革は何でもかんでも削る、縮小するとい

うものでなく、メリハリをつけるものだと思うている。

一般質問

荒井 真理 議員

法的安定性は市政発展、信頼の要です



【質問】 金井地区保育園統合問題について市民の理解が得られていない。合意していないのに「理解してもらった」と言われ、市民は不安になっている。

【社会福祉課長】 これまで統合が特にどうしてもだめだという反対はなかった。統合時期について理解が得られていなかったと考

【質問】 保護者の意向調査では記名した上、賛成の選択肢のみで答えることになって

【質問】 保護者の意向調査では記名した上、賛成の選択肢のみで答えることになって

【社会福祉課長】 理由を書いてもらうべきだったと反省している。

【質問】 低気圧の長期停滞が大水害になる。新園舎も新保川のすぐ隣で子どもに危

険ではないか。

【社会福祉課長】 しつかりした安全対策を講じれば問題ないと考える。

【質問】 次に補助金事業について問う。まず起業チャレンジと新製品開発の補助金問題は、事業者が当初見積りになかつた支出をした上、事務所を売却してしま

【質問】 補助金要綱にも規則にも反しているのではない

【産業振興課長】 市の指導ミスで変更交付申請がなかつた。要綱に抵触していた分の補助金は返還させた。

【質問】 補助金の使われ方がおかしいので更に調査を求めたい。

【観光振興課長】 架空領収書と、関係者の了承及び実績報告に虚偽があり、補助金の全額返還を命じた。告訴は弁護士と相談する。

【質問】 もっと迅速にすべきである。次に職員の架空請求事件に係る懲戒処分について市の説明の根拠となる事実確認ができていないと考える。議員が資料要求しても出さないのでは、質問もできず議会軽視である。

【総務課長】 刑事告訴案件として警察と調整しているためもう少し時間がほしい。

【質問】 市は、法律も規則も要綱も都合よく恣意的に解釈する傾向がある。市長は徹底的に膿を出す、と言ったのではなかったか。

【市長】 徹底的にどうという問題があつたのか包み隠さず報告をしろ、と職員にも徹底している。外部委員も入れてやっている。

一般質問

大澤 祐治郎 議員

次の将来が読めるような、政治を志すべきである



【質問】 財源のない離島が生きていくには、人口を増やすことであるが、それを雇う先を探すこともさらに難しい。その中で税収を上げ

【質問】 財源のない離島が生きていくには、人口を増やすことであるが、それを雇う先を探すこともさらに難しい。その中で税収を上げ

【質問】 全盛期には離島予算が600億近くきたことがあ

【質問】 全盛期には離島予算が600億近くきたことがあ

【市長】 財政状況が健全かどうかを示す指標として健全化判断比率があるが、現段階では問題はないと判断している。将来先、今の状況からすると自主財源が減

【質問】 我々の子供が生きていくための生活を立ててき

ことはある程度推測できた。佐渡は、離島の重要性があるので、離島振興が日本の振興になることをベ

【質問】 新しい世代のリーダー、市議会議員、市長が出て、どうしても新しい庁舎が必要であれば相談すればよいのであり、今のままで

【市長】 庁舎問題は、財源は厳しいが有利な財源を活用する考えである。現在、分散している本庁機能を集約して効率的な行政運営をする必要があるが、合併特例債が使える段階なので、いわゆる投資と考えて提案をしているところである。

【質問】 今年の世界遺産登録推薦とはならなかったが、世界遺産登録の日本推薦となれば登録はもう間違いない。

【市長】 相川の金銀山、西三川の銀山など登録された場合、それを活用したまちづくりや整備も必要となり、費用もかかるので、現段階は、ま

【質問】 今年の世界遺産登録推薦とはならなかったが、世界遺産登録の日本推薦となれば登録はもう間違いない。

一般質問

渡辺 慎一 議員

衛星活用で佐渡米のブランディング戦略を



〔質問〕 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略は国への要望内容が固まったと聞く。内容と金額を問う。

〔市長〕 国に県を通じて申請中である。

〔総合政策課長〕 タイプ1は佐渡米品質向上事業に5000万円、タイプ2は子育て環境の充実モデル事業、グローバル人材育成事業、U・Iターナー者リフォーム支援事業等に1000万円、合計申請額6000万円である。

〔質問〕 行政サービス機能の民間委託について問う。

〔市長〕 民間と行政が業務をどう分担し、効率化を図れるか、特に住民サービスの向上に向け、市民が一番喜ぶ体制を作っていく。今全庁体制で検討を始めたところである。

金井町吉井連絡所、旧両津市水津出張所を廃止した際、行政サービスの低下を防ぐため、地元郵便局に証明書等窓口交付業務を委託した。

現在全庁的に事務事業効率化のため民間委託を検討している。本庁においては総合窓口を設置し、総務事務センターの業務及び伝票一括処理を含めた出納事務の一部を民間に任せていきたい。また、支所・行政サービスセンターの窓口業務については、本庁との兼ね合い、費用対効果等検証し、検討に入る。

〔質問〕 米の検査は、なんのためにやっているか。

〔市長〕 見た目で等級を決めている。等級がよいものが高くなる。

〔質問〕 食味ではないのか。

〔市長〕 佐渡米は日本穀物検

査でずっと特Aである。「食味」は食味計でなく食べた人間が判断するものである。

〔質問〕 衛星を使ったスペックトル解析によってタンパク含有までわかる。佐渡米の販売戦略にできないか。

〔市長〕 今は一等級比率90パーセント以上を目標に掲げやっていく。

〔質問〕 佐渡汽船問題について、赤字航路を切り捨てても、採算性が確保できるような経営努力・営業努力・固定費削減努力できるトップを変えなければならない。それができるのは筆頭株主の県だ。できなければ県の責任は極めて大きい。

〔市長〕 そのとおりだと思います。

一般質問

近藤 和義 議員

赤泊航路の利用促進を 航路維持は県の主導で



〔質問〕 下表のとおり、平成22年は両津航路の黒字分で小木と赤泊の赤字を埋めても4億円の利益が出ていたが、昨年は差し引き3.5億円の赤字である。これが今回の貨物運賃値上げの第一要因ではないか。

〔市長〕 この事実は理解するが、今回の20パーセント値上げは横暴である。

〔質問〕 7月22日の三者会議で小川社長は、赤泊航路を休止し、貨物運賃は20パーセント値上げすると表明したのか。

〔交通政策課長〕 当日、佐渡汽船からその話があった。

〔質問〕 赤泊航路の佐渡島民の利用は年々減少し、365日で割ると平成15年は1日16人いたものが、昨年は1日2人（9か月運航換算2.7人）だが、もつと島民の利用促進を図るべきではないか。

〔市長〕 地元を中心に大いに活用しなければいけない。

〔質問〕 「佐渡汽船は赤泊航路を休止してもよいから、貨物運賃の値上げはしないように」と県に要請している議員がいると聞くが、これをどう思うか。

〔市長〕 今聞いたばかりだが、いかがなものかと思

う。

〔質問〕 直近のジェットフォイルの更新補助も含めて、佐渡市の財政では現行航路維持は困難であり、且つ、島民に負担を強いることのないように筆頭株主の県が生活航路支援に主導して取り組むべきで、その運動が必要。

〔市長〕 県が当然離島の活性化の観点から取り組むべきであり、そのことは十分承知しており努力しているが、壁を破られない部分がある。

過去5年の航路別収支 (単位: 百万円)

	新潟両津航路			小木直江津航路			寺泊赤泊航路		
	収益	費用	損益	収益	費用	損益	収益	費用	損益
H22	7,115	5,967	1,148	789	1,314	▲ 525	110	336	▲ 226
H23	7,016	6,070	946	740	1,195	▲ 455	84	325	▲ 241
H24	7,048	6,348	700	785	1,055	▲ 270	102	330	▲ 228
H25	6,929	6,400	529	723	1,100	▲ 377	91	337	▲ 246
H26	6,656	6,250	406	620	1,122	▲ 502	81	336	▲ 255

※各航路の損益の合計額と「会社決算額」は一致しません。

市交通政策課資料

委員会審査経過

9月定例会における、各常任委員会の主な審査経過を報告します。

総務文教常任委員会

佐和田行政サービスセンター
耐震補強・大規模改修工事
請負契約の締結について

円滑になること。

などの理由をあげ今回は、これらのメリットを検証するために、試験的に実施したとの説明がありました。

委員からは、デメリット

財務課契約管理主幹から
本案の入札は、建築・電気・機械工事を一括発注で行ったとの報告がありました。それについて委員から、今まで一定規模以上の工事は分離発注していたのに、どうして一括にしたのかとの質問がありました。

の方が大きいのではないかと、以前一括発注で問題があり分離発注に変えた経緯があるなど多くの意見が出されました。

契約管理主幹からは、メリットの方が大きいと判断できれば、平成29年度から一定規模以上の工事を一括発注する制度をスタートさせたいとの説明がありました。

不良・不適格業者を排除

し、優良企業を育成できること。

発注者・請負業者・工事
監理業者の意思疎通がより

委員からは、業者から複数の苦情がきている実態があるため、今後は、事前に議会へ相談すべきだとの発



佐和田行政サービスセンター

言がありました。

審査の結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものとして決定しました。

なお、本委員会において付した意見は、次のとおりです。

〔意見〕

本請負契約は、従来、

建築・電気・機械にかかる一定規模以上の工事について分離して行っていた入札について、そのメリット・デメリットを検証するために、あえてこれらを一括して入札に付したものである。

しかし、今後、当該発注方針については、速やかに再検討すること。

市民厚生常任委員会

「金井温泉 金北の里」の
復活を求める請願について

紹介議員から請願趣旨について説明を受けた時点で、金井温泉施設の無償貸与に関する議案が上程される可能性があるため、議案審査とあわせて執行部より説明を求めることとなりました。

その後、プロポーザル審査委員会でも温泉事業の提案について審査した結果、合



金井温泉 金北の里

格点に届かず、議案は上程されないこととなりました。今後、佐渡市は金井温泉について温泉施設としての事業再開を断念し、民間への譲渡または他用途施設への転換を検討していくと説明がありました。当委員会はそれを了とし、全会一致で不採択とすべきものとして決定しました。